

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	内科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 25 年 12 月
レジメン名	ダカルバジン(悪性黒色腫)(アプレピタントカプセル)		
疾患名	悪性黒色腫		
適応分類	適応の備考		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日 〓ダカルバジン200mg/m ² day1-5			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	ハロセトロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																											
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●																										
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body			●	●	●	●																							
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分		●	●	●	●																							
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																							
	点滴静注	ダカルバジン注	200 mg / m ²	5 分	●	●	●	●	●																							
		注射用水20mL	2 本 / body			●	●	●	●	●																						
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●	●	●																							
	点滴静注		/																													
5	経口投与	アプレピタントカプセル	125 mg / body		●																											
	抗がん剤の投与1時間前に服用																															
6	経口投与	アプレピタントカプセル	80 mg / body			●	●																									
	分1午前中に服用																															

【投与上の注意】

アプレピタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
 アプレピタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
 アプレピタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
 ダカルバジン:希釈後は要遮光。点滴ルートも遮光する。
 高度催吐性リスクの抗がん剤を5日間連続投与するので、患者の嘔気の状態に応じて制吐剤の追加投与を考慮する。